

遺伝子機能解析分野 平成23年9月-平成24年2月の活動と実施行事

<設備・機器の修理や新設>

分野 website に機器一覧、機器オンライン予約、お知らせ、申請書類ファイル、セミナー記録、技術講習会活動記録、ニュースなどが掲載されています。最新情報は随時更新しています。以下のサイトをぜひご覧ください。

<http://shimane-u.org/index.htm>

機器のオンライン予約を行うためには、利用代表者のユーザーID およびパスワードが必要です。ユーザーID およびパスワードの登録につきましては遺伝子機能解析分野事務までお問い合わせください。

新たにオンライン予約化を希望される機器がございましたらご連絡ください。

- (1) マイクロアレイスキャナーのレーザー校正を行いました。
- (2) 共焦点レーザー蛍光顕微鏡（ライカ TCS SP5）の定期点検を行い、信号系の部品の交換とアプリケーションのバージョンアップを行いました
- (3) RI 管理区域の出入管理システムが老朽化したため更新しました。新システム用カードキーを発行しますので旧カードを遺伝子分野事務室へご持参ください。なお入退室の仕方は従来どおりです。

<行事>

公開講座 島根の科学ーおもしろい科学のはなしー7を開催しました。

平成23年11月12日

「植物の物質吸収のしくみー植物の吸収力を利用した環境浄化、放射能浄化ー」

秋廣高志氏（島根大学生物資源科学部）

平成23年11月19日

「細胞の社会」

松本健一氏（島根大学総合科学研究支援センター）

放射能とは何だろうか？ー福島原発事故の影響を正しく理解するためにー」

成相 透氏（島根大学総合科学研究支援センター）

第83回 遺伝子機能解析分野技術講習会 第3回島根大学バイオイメージング研究会技術講習会を開催しました。

平成23年11月16日

「Molecular devices 社製 画像解析ソフトウェア Metamorph の説明会」

第84回 遺伝子機能解析分野技術講習会を開催しました。

平成23年11月22日

「次世代シーケンサーを用いたゲノム解析」

教育訓練を開催しました。

平成23年10月24日

「放射線業務従事者新規登録者教育訓練」

<会議・研修会等参加>

11月18日 第27回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（以下に報告があります）

<セミナー開催>

第186回 平成23年9月20日

（第302回細胞工学研究会講演会）

演題 クオラムセンシングをターゲットとしたバイオフィルム阻害剤の開発
阿座上弘行氏（山口大学農学部）

第187回 平成23年10月9日

（第300回細胞工学研究会講演会）

演題 生物化学に挑んで
柴田均氏（島根大学理事）

第188回 平成23年11月4日

（第304回細胞工学研究会講演会）

演題 筋肉の代謝調節機能と低分子量G蛋白質の関係
上田修司氏（神戸大学大学院農学研究科）

第189回 平成24年1月20日

（第305回細胞工学研究会講演会）

演題 代謝・排泄に関する構造活性相関と分子モデリング
赤松美紀氏（京都大学大学院農学研究科）

<講演>

日本農芸化学会中四国支部創立10周年記念 第15回市民フォーラム

平成23年11月3日（松江テルサ）

演題 福島での放射線検査
山根冬彦

<会議等報告>

第27回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（11月18日、群馬大学）報告

本協議会の情報は、大学遺伝子協 website (<http://www1a.biglobe.ne.jp/iden-kyo/index.html>) に掲載されております。

この協議会には大学の遺伝子関連研究支援施設に加え、遺伝子組換え実験安全委員会も参

加されています（会員46、オブザーバ2）。今回は会員として、理化学研究所安全管理部、東海大学遺伝子組換え実験安全委員会、オブザーバとして放射線医学総合研究所が参加することになりました。

例年本協議会でカルタヘナ法の説明が行われますが、より充実した内容の公開説明会が文科省主催、および本会主催で毎年行われるようになってきています。遺伝子組換え実験の管理に携われる方は、これら説明会に参加されてはいかがでしょうか。開催情報は大学遺伝子協 website に掲載されます。

本年度の総会では、企画委員会より、平成24年度の遺伝子組換え実験安全管理講習会の開催（7月7日神戸開催予定）、遺伝子組換え安全教育の英語テキスト作成計画について報告がありました。同委員会では、WGを立ち上げ、英語での遺伝子組換え実験安全教育に用いるパワーポイントファイル、修了検定問題等の作成を予定しています。平成24年11月頃の完成、ネットでの公開が予定されています。各大学等における英語での安全教育の有用な教材になると思います。また、日本語での安全教育にも役に立つものと思います。公開されましたら、またお知らせしたいと思います。

遺伝子組換え生物等委員会より、第2種使用等の遺伝子組換え生物の譲渡等の情報提供書の様式例を作成し（要望があった）、大学遺伝子協 website で公開したとの報告がありました。多様な遺伝子組換え生物のうち、カイコ、メダカ、海産動物（ホヤ）の拡散防止措置の例が完成し、大学遺伝子協 website で公開され、カエル、ショウジョウバエ、ニワトリは進行中であることが報告されました。カルタヘナ相談窓口の情報を大学遺伝子協 website に掲載したことが報告されました。

<その他>

遺伝子機能解析分野で開発された Gateway バイナリベクターの論文が *Journal of Bioscience and Bioengineering* の Most Cited Articles (last five year) のトップにランクされました。

関連リンク: ELSEVIER のページ

<http://www.journals.elsevier.com/journal-of-bioscience-and-bioengineering/>

論文名 : Development of series of Gateway binary vectors, pGWBs, for realizing efficient construction of fusion genes for plant transformation. Nakagawa T. et al., *J.B.B.* 104: 34-41 (2007)